

ナンバリング	B⑤05	科目名	こども家庭支援論		担当教員	佐藤隆司	
ディプロマポリシーとの関連性	③・④		担当形態	単独			
テキスト	適宜紹介。 必要に応じて資料配布。			単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	前期
<b>講義概要</b> <b>■到達目標</b> 1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解して説明できる。 2. 保育の専門性を活かしたこども家庭支援の意義に関して説明することができる。 3. 子育て家庭に対する制度、支援体制などを理解して説明できる。 4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と支援の現状、課題などを整理して説明できる。 <b>■授業の概要</b> 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解するとともに、支援の体制の必要性を学ぶ。また、保育の専門性を活かした多様な支援の展開とこども家庭支援の現状と課題を理解して適切な支援に活用する。 なお、授業の進捗状況等により、若干、前後することもあり得る。 <b>■授業計画</b> 第1回 こども家庭支援の意義と必要性 第2回 こども家庭支援の目的と機能 第3回 保育の専門性を活かしたこども家庭支援 ～保育士に求められる態度～ 第4回 保護者及び地域の子育て実践力の向上に資する支援～こどもの育ちの喜びを共有する～ 第5回 保育士による支援① 家庭の状況に応じた支援 第6回 保育士による支援② 関係機関等との連携・協力 第7回 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 ～支援の内容と対象～ 第8回 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 第9回 児童虐待の理解① 虐待の定義の理解 第10回 児童虐待の理解② 発見・通告・介入・支援、市町村要保護児童対策地域協議会 第11回 子育て支援を巡る社会資源① 保育所入所児童の家庭支援 第12回 子育て支援を巡る社会資源② 基本的な相談窓口の理解 第13回 子育て支援サービスの現状と課題 第14回 期末試験 第15回 総括 <b>■準備学習</b> 前回授業の復習と次回授業の予習。 「分からない」は「(何が) 分からない」と明確化して授業に取り組むこととする。 <b>■評価方法</b> ・授業態度、参加意欲、発言内容、取り組み — 20% ・期末試験 — 60% ・課題の提出 — 20%							
参考文献	・「保育所保育指針」厚生労働省 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府 ・「子どもと家庭の福祉を学ぶ」ななみ書房 ・「新保育ライブラリ社会的養護」北大路書房			特記事項	<b>【留意事項】</b> ・私語、飲食、化粧、途中退室、電子機器使用などは禁止。 <b>【課題等へのフィードバック方法】</b> ・試験後、模範回答を提示して解説する。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修			幼保	保育の本質・目的に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容	児童相談所（区域担当・虐待防止調整担当・里親担当児童福祉司）、児童養護施設、児童自立支援施設などの勤務経験を活かして現場の実情と課題、指導内容などに触れ、より実践的な授業を実施する。						